どの地区にも輝くチャンスを

～令和８年度町民体育祭が開催されました～

令和８年度の町民体育祭(第 29 回体育祭)が、10 月 11 日(日)にふるさとの広場で開催されました。

当日は秋晴れの上天気に恵まれ、汗ばむほどの陽気となりました。数日前から晴れの予報が出ていたこともあり、当日を迎えるのが待ち遠しく、身も心もウキウキするような気持ちでした。



【挨拶される笹川環境大臣】

【環境大臣はＳＰ付き】

また、来賓としてお招きした環境大臣の笹川ひろよし衆議院議員は、SP 付きで来場してくださいました。群馬県警の警察官と合わせて計 11 名が警備に当たる中、午前 11 時頃に来場され、挨拶をいただきました。さす

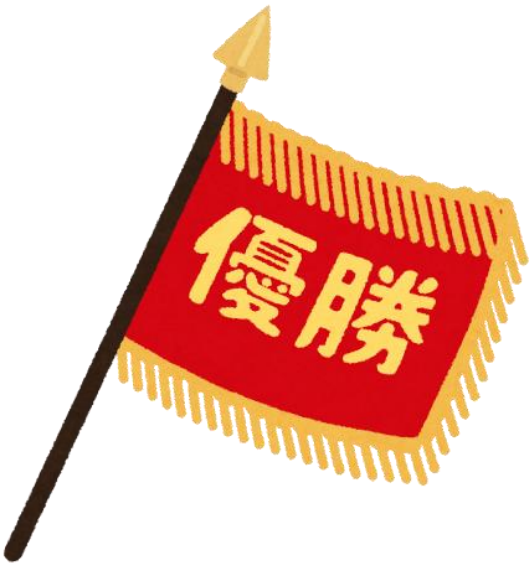
がに大臣ですね！ SP を伴うことで生まれるピンと張り詰めた空気は、日頃の笹川氏とのやり取りからは想像できないものでした。



【優勝は地力に勝る千津井に！】

この日の優勝は、東部地域にありながら戸数と人口の増加が目覚ましい千津井地区でした。千津井地区は昨年こそ優勝を逃したものの、令和５年度、６年度には優勝した地区です。地力に勝る千津井地区が、令和８年度も優勝を果たしました。

戸数で勝る新里地区が優勝の定位置でしたが、コロナ禍で 3 年間大会が中止になって以降は、千津井地区の天下となっております。



【ハンディキャップ導入から８年】

明和町には16の行政区があり、各地区が対抗して優勝を争っています。勝負は厳しいもので、毎年、人口と戸数の多い地区が優勝旗を手にするばかりか、準優勝や第３位の賞状も持ち帰ってしまいます。そのため、人口と戸数の少ない地区には、表彰状に手が届かない状態が続いていました。



【何とか少数戸数地域に賞状を】

私が町長に就任して以来、町民体育祭では、明和町で最も戸数の少ない入ケ谷地区に何らかの形で表彰状を渡したいと考え、令和元年からハンディキャップ制度を導入致しました。

ハンディキャップ制度は、ゴルフの新ペリア方式を参考に、グロス(基本的にハンディ加算前の「総量」)の優勝、準優勝、第３位の表彰はその

ままに、前年の優勝地区との点差をハンディキャップとして加算することで、ハンディキャップ部門でも優勝、準優勝、第３位を表彰する仕組みです。これまで入賞が夢だった地区にも、表彰の機会が生まれるようになりました。

明和町民体育祭　年度別成績一覧表

回　数	開催年度	優　勝	準 優 勝	第　３　位	通算回数
1	平成10年	梅　原	矢　島	南 大 島	43
2	〃 11年	南 大 島	大 佐 貫	矢　島	44
3	〃 12年	南 大 島	新　里	梅　原	45
4	〃 13年	江　口	梅　原	南 大 島	46
5	〃 14年	新　里	江　口	梅　原	47
6	〃 15年	梅　原	新　里	江　口	48
7	〃 16年	梅　原	新　里	矢　島	49
8	〃 17年	荒天等により大会中止			50
9	〃 18年	新　里	大　輪	大 佐 貫	51
10	〃 19年	新　里	大　輪	南 大 島	52
11	〃 20年	新　里	矢　島	大　輪	53
12	〃 21年	新　里	南 大 島	江　口	54
13	〃 22年	新　里	大 佐 貫	江　口	55
14	〃 23年	川　俣	新　里	南 大 島	56
15	〃 24年	千 津 井	川　俣	南 大 島	57
16	〃 25年	川　俣	梅　原	新　里	58
17	〃 26年	須　賀	南 大 島	田　島	59
18	〃 27年	川　俣	新　里	矢　島	60
19	〃 28年	新　里	川　俣	田　島	61
20	〃 29年	新　里	千 津 井	川　俣	62
21	〃 30年	新　里	千 津 井	川　俣	63
22	令和元年	新　里	南 大 島	須　賀	64
23	令和 2年	新型コロナウィルスのため大会中止			65
24	令和 3年	新型コロナウィルスのため大会中止			66
25	令和 4年	新型コロナウィルスのため大会中止			67
26	令和 5年	千 津 井	新　里	梅　原	68
27	令和 6年	千 津 井	南 大 島	新　里	69
28	令和 7年	梅　原	中　谷	新　里	70
29	令和 8年	千 津 井	川　俣	江　口	71



ハンディ部門		
優　勝	準 優 勝	第　３　位
梅　原	矢　島	中　谷
新型コロナウィルスのため大会中止		
新型コロナウィルスのため大会中止		
新型コロナウィルスのため大会中止		
下 江 黒	斗 合 田	入 ヶ 谷
大　輪	南 大 島	下 江 黒
梅　原	中　谷	田　島
川　俣	江　口	入 ヶ 谷

※令和元年度からハンディ部門導入

【ハンディキャップ部門で第３位】

今年は、まさに狙いどおり、最も戸数の少ない、わずか 27 戸の入ケ谷地区がハンディキャップ部門で第３位となりました。これは令和５年の大会以来の快挙です。ビックリ仰天ですね……。

長く町長を務めていると、思わず笑ってしまうことが多々ありますが、今回のことは、小兵力士が大の里に勝つようなものです。本当にすがすがしい気持ちになりました。

入ケ谷地区に体育祭の表彰状を届けられたことは、私としても大変嬉しく、ハンディキャップ制度を作って良かったと、改めて思いました。こうした工夫で地域に希望が生まれるのは何よりです。入ケ谷地区には、今度は優勝を目指して頑張って欲しいと思います。そして、これからも町民の皆さまがそれぞれの地区に誇りを持って、体育祭を楽しんでいただきたいと思っております。



【表彰を受ける入ヶ谷区長】

令和8年10月19日

明和町長　冨塚もとすけ